

センター通信

2017年8、9月〔第239号〕

Create(創造), Challenge(挑戦), Collaborate(協働)を大切に

発行所 社会福祉法人広島市手をつなぐ育成会

広島市就労支援センター

TEL (082) 537-1331

FAX (082) 537-1332

E-mail: si-jusan@gaea.ocn.ne.jp

http://h-shisyurou.jp/

8月6日「原爆の日」に向けて ～すまいるスタジオ（中区）～

今年度も、広島市から「障害者優先調達推進」のひとつとして、千羽鶴ファクトリーチーム（千羽鶴を解体している33事業所、以下「ファクトリーチーム」）へ年間150万枚の「折り鶴ポストカード」の発注が決まりました。この折り鶴ポストカードは「平和の発信力の強化」として、平成27年度から広島平和記念資料館の入場記念として全員に配布されています。社会実験であるこの事業収益は、事業所で解体作業に関わる利用者への工賃や、新商品の開発、自主製品の製造など今後の活動の発展につながる機器類の購入等に使っています。広島市がファクトリーチームのこれまでの活動を評価し、障がいのある人の就労支援や工賃向上について向き合っている証と言えます。



今年も、まもなく8月6日「原爆の日」を迎えます。ファクトリーチームには、平和都市、広島にある事業所だからこそ、世界に発信できるメッセージがあると思います。8月6日の灯篭流しで販売する「千羽鶴再生紙の灯篭」を、今年は1,500枚受注しました。現在、ファクトリーチームで平和への思いを込めながら協同制作しています。制作していただいた事業所からは「自分たちで解体した折り鶴が、このような灯篭に生まれ変わることを知ってよかった」「灯篭を作ることで、自分が灯篭流しに参加をしているみたいだった」と聞く事ができました。



事業所によってファクトリーチームへの関わり方は様々ですが、それぞれの事業所がそれぞれのペースで参加できるチームでありたいと思っています。各事業所に職人が育ち、受注したグッズをファクトリーチームで協同してクオリティの高いグッズの製作ができるようになることが、今後のファクトリーチームの課題になると思います。これから、グッズ製作の工房を広げていくために、すまいるスタジオの工房で他事業所の利用者の方に体験していただく機会を積極的に作っていこうと思います。

多くの関係皆様のご協力をいただいていることに感謝をし、この社会実験が、障がいのある人たちにとって生き生きと働き、暮らしていくための支援につながるよう、ファクトリーチームみんなで活動を進めていきましょう。

(管理者 曾根 都)

次に紹介する二つの事例は、広島市心身障害者福祉基金（尾崎基金）の助成金で実施しました。

平成28年度 販路開拓・技術支援事業報告
～生活介護事業所 あさ作業所（安佐南区）～

●事業に参加した理由

ズバリ、「たくさん売れるといいね」「儲けたい！」などのメンバーの思いを叶えたかったのがきっかけでした。私たち、「あさ作業所」の縫製部門は法人内でも“赤字部門”の代名詞でしたから、何か対策を講じる必要がありました。

●実施内容

アドバイザー：広島市中小企業支援センター 新商品開発コンサルタント 新居 敏春 氏
2016年8月～2017年2月 毎月1回 計7回 あさ作業所内にて相談等実施
2017年2月22日（水）広島市就労支援センターにて全体研修会（研修報告会）開催

当初は‘新商品の開発’ということで、制作のための材料（テントやカーシートの端材など）をたくさん紹介していただき、試作・検討を重ねましたが、生産能力（技術）が伴わないことを再認識し、断念することになりました。

そこで、メンバーが長年その制作に携わり、慣れ親しんでいる「なんでもマット」と改めて向き合い、その“ブランド力”を再認識。新たなる販売場所を模索することに方向転換しました。

作業所職員による『営業活動』など、これまで考えもしなかったことを教わり、量販店などにも出向きました。広島市就労支援センターの後押しもあり、広島市安佐動物公園との商談が成立。包装袋やタグのずれなどの改善点を修正し、ゴールデンウィークには売店に並べていただくことができ、予想以上に売っていたことに驚きました。

店頭に並ぶことや、売れることを通して、メンバーの仕事を知って貰える場が増えたことも成果の一つと考えます。



なんでもマット(小)



なんでもマット(大)

これからも「手づくり」ということを大事にし、メンバーとともに制作の喜びを分かち合いつつ、売り上げUP、工賃UPを目指していきたいと思います。

（報告者：菅原 なつき）

平成 28 年度 販路開拓・技術事業報告
～「支援センターあいる」(佐伯区)の取り組み～

●アドバイスを受けた理由

あいるでは、自閉症の男の子が描いた絵の消しゴムはんこで『ぼち袋』を作り、オリジナル商品として販売するという企画を進めてきました。この『ぼち袋』を価値ある製品としてより多くの人に知ってもらいたい、販路開拓のアドバイスがいただきたいという思いから相談しました。

●実施内容

☆アドバイザー 広島市中小企業支援センター新商品開発センター 新居 敏張 氏

☆アドバイスいただいたこと

- ①「牛乳パックリサイクル商品」「折り鶴再生紙」などの言葉を入れて、商品の価値をもっとアピールしてみてもどうか…。
- ②はんこをゴム印にして、いろいろな物に押しつけて販売、ブランドとして展開してみても…。
- ③絵柄によって、その商品をどこで売るのが、どんな人が買うのかをしっかりとイメージを膨らませていくことで、販路開拓ができるのではないかと…。

☆アドバイスを受けて(今後の取り組み)

- ①商品のアピール方法を検討。看板やパンフレットによる宣伝を行っていくことにしました。
- ②ブランド名は、しょうたくんのお母さんが考えた「あ'sぼわーる」で販売。
登録商標を行い、新商品を開発していきます。
- ③動物の絵は動物園、魚の絵は水族館、草花の絵は植物園…というイメージで商品の販売先を開拓していきます。



あ'sぼわーる (しょうたくんのお母さんの言葉)

あ'sぼわーる(あすぼわーる)はあいるの『あ』と、動物大好きなしょうたくんの『s』、そしてフランス語で希望という意味の『エスポワール』融合させた言葉です。明日への希望、夢、輝き☆そんな想いを込めています。しょうたくんは知的障害を伴う自閉症です。動物が大好きな彼は絵で動物を表現しています。全国の動物園に行きたい! 飼育員さんになりたい!

好きなことから夢は広がりますね。



全 5 種類 5 枚入り 200 円 3 枚入り 150 円

しょうたくんの描いた絵で新商品を作り、販売していきたいと思えます。
ぼち袋と共にしょうたくんの願いが多くの人たちに届きますように…

(代表 繁山 由貴子)

良和ハウス・プレゼンツ・スポンサードゲーム

今年は日本一を目指して！

今年も、良和ハウス様から、8月12日（土）対巨人戦の観戦にご招待いただきます。観戦場所は、改修された「パーティ・ベランダ席」です。また、例年と同じように、入場者先着3,000名へ配布するクッキー、抽選プレゼント用、選手代表プレゼント用のクッキー詰め合せも発注していただきました。ありがとうございます。観戦当日につきっきりでお世話していただく良和ハウス社員の皆様、今年もよろしくをお願いします。



広島市役所 1 階ロビー、安佐北区(区役所、総合福祉センター) 出店販売

8月、9月の出店販売日は下記のとおりです。パン、クッキー等の食品を中心に販売しています。販売時間は12:00~13:00です。昼食とか、残業時の間食に是非ともご購入ください。皆様のお越しをお待ちしています。なお、8月15日は、盆休みにする事業所が多いため、休店にしました。

広島市役所 1 階ロビー（東側）			
出店販売日	事業所（1）	事業所（2）	事業所（3）
8月	1日	SOAR きつつき	おりづる作業所 みのり作業所
	8日	未来館	安芸の郷 なないろ作業所
	15日	—	—
	22日	広島どんぐり作業所	つくしんぼ作業所 サンライズ
	29日	SOAR きつつき	元気工房やる気まんまん ワークハウススマイル
9月	5日	未来館	おりづる作業所 かざぐるま舎
	12日	SOAR きつつき	安芸の郷 なないろ作業所
	19日	もみじ福祉会	スーリール つくしんぼ作業所
	26日	広島どんぐり作業所	アイサンサン作業所 元気工房やる気まんまん

出店販売日	安佐北区役所 1 階ロビー	安佐北区総合福祉センター 2 階
8月	1日	お菓子工房エール —
	8日	つくし工房 亀崎夢ひろば
	15日	—
	22日	可部つちくれの家 お菓子工房エール
	29日	亀崎夢ひろば 可部つちくれの家
9月	5日	お菓子工房エール つくし工房
	12日	つくし工房可部 亀崎夢ひろば
	19日	— お菓子工房エール
	26日	亀崎夢ひろば 可部つちくれの家